

# 中小企業診断士の視点

第76回

これからの経営を考える視点「エシカル」



中小企業診断士 藤原 彩香  
(一社)埼玉県中小企業診断協会

「エシカル」という言葉を聞いたことがありますか？ この視点で経営を見つめなおすと、これから進むべき道のヒントを得ることができます。先が見えづらく不確実性の高い今の時代に、経営の道しるべとなってくれるエシカルについて紹介します。

## ◆「エシカル」とは？

「エシカル」とは、直訳すると「倫理的な」という意味です。一般的には、「法的な縛りはないけれども、多くの人たちが正しいと思うことで、人間が本来持つ良心から発生した社会的な規範」と言えます。(一社)エシカル協会では、「人や地球環境、社会、地域に配慮した考え方や行動」と定義されており、「エいきょうをしっかりとカながエル」ことだとされています。「倫理的な」と言われてしまうと身構えてしまいますが、自社とあらゆる利害関係者（株主や顧客はもとより、従業員や消費者、サプライヤー、地域住民、自治体、そして環境やそこで暮らす動物たちなど）との関係性を「おたがいさま」「おかげさま」という思いやりでつないでいくことだと考えると、グッと身近に感じられるのではないのでしょうか。

## ◆社会・消費者からの要請の高まり

コロナ禍で疲弊し格差と分断が拡大する世界において、エシカルに対する社会の関心が高まってきています。これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄を前提とする社会経済システムではもはや持続可能ではなく、新しい社会経済システムの構築が強く求められており、大企業だけではなく中小企業でも「エシカル」な視点での事業見直しを進める動きが加速してきています。

人や社会、環境、地域に配慮したものやサービスを進んで選ぶ消費行動も年々関心が高まってきており、安心・安全、品質、価格と並ぶ商品選択の「第4の尺度」ともいわれています。(一社)エシカル協会が実施したアンケート結果によると、「エシカルな製品を今後は(も)購入したい」と考える人は全体の9割にも上ります。

## ◆エシカルな視点で経営を見つめなおすポイント

気候変動に伴う温暖化、異常気象の多発、森林資源の枯渇、水資源不足や食料危機、生物多様性の損失、私たちが直面している課題はとて大きく複雑です。だからこそ、まずは経営者としてではなく、一人の生活者として、日々の生活の中で課題への感度を高めることから始めてみることをお勧めします。そうすることで、大きくて遠いと感じていた課題を身近な課題に落とし込むことができ、それが自社の製品やサービスを見つめなおす土台になるのです。

埼玉県中小企業診断協会には「エシカル」に知見のある中小企業診断士がおりますので、エシカルな視点から経営を見つめなおしてみたいという方は、お気軽にご相談ください。

### 【問い合わせ先】

(一社)埼玉県中小企業診断協会

ホームページ：<https://sai-smeca.com/>

電話：048-762-3350

Eメール：[rmcsai@nifty.com](mailto:rmcsai@nifty.com)